

特集 東京スカイツリー開業

5月22日 待望のグランドオープン



東京スカイツリータウン



世界一の自立式電波塔、東京スカイツリーを中心とする「東京スカイツリータウン」(東京都墨田区)が22日、いよいよグランドオープンする。東京の新たなシンボル誕生に、地元のみならず、観光業界も「久々の明るい話題」と熱い視線を送る。活況とは言い難い国内旅行市場だけに、観光関係者は「(市場活性化の)起爆剤になってほしい」と期待を寄せる。

東京の新たな観光資源 旅行活性化の起爆剤 修旅の目玉にも

下町の面影を色濃く残す東京スカイツリーシタター、オフィスビルが立ち並ぶ墨田区。昔ながら「商業施設」「東京スカイツリー」なるのは確実(大手旅行業者)。「新・下町流」をコンセプトに、新しい下町を世界に発信する商業施設。ファッションや雑貨、レストラン、スイーツ、ドームシアターなど、営業時間10時から21時、レストランが11時、すみだ水族館、東京ソラマチ、東京ソラマチのウエストヤード5、6階に、計約400種、1万匹の生物が展示される「東京大水槽」(水深6メートル)は小笠原諸島の海を再現。営業時間は9時21分、料金は大人2千円、高校生1千500円、小学生1千円、幼児3歳以上600円(税込)。

鬼怒川エリアの旅館ホテルも宿泊客の増加が期待できる。とはいえず、待っているだけではせっかくのビジネスチャンス逃してしまう。地域一体として情報発信し、これまでに以上に誘客に積極的に取り組むべきだ。ここで改めてスカイツリータウンの主な施設を紹介する。

周辺には浅草寺や隅田川、向島など魅力的な観光スポットが多くあり、まさに「大観光地の誕生だ。石原慎太郎東京都知事も「新たな東京の魅力」を捉え、観光資源」と大鼓判を押し、旅行、宿泊業者にとっても大きなビジネスチャンスとなる。スカイツリーを組み込んだ旅行商品で、団体旅行についても「修学旅行などの目玉となるのは確実(大手旅行業者)」。東武沿線にある日光や



↑上はスカイツリーの全貌。その立上りという形状のもの。下は江戸紫と金箔をイメージした「雅」のライティング。



©TOKYO-SKYTREETOWN



↑地上450mにある天望回廊



5月22日(火) オープン!
すみだを世界に伝える 情報発信基地

すみだの「観遊」どころ

すみだまち処

産業観光プラザ

東京スカイツリータウンのなかにある東京ソラマチ。その東街区5階に墨田区の魅力を紹介する施設「産業観光プラザ すみだまち処」がオープン。すみだのまち歩きをより楽しんでもらうための新感覚情報ステーションです。すみだの「特産」、「ものづくり」、「まちあるき」、「歳時」という4つのゾーンで構成し、すみだの産業や文化、歴史、観光名所などを、趣向を凝らして魅力的に紹介しています。

特産	ものづくり	まちあるき	歳時
すみだの食の特産品と、その味が生まれた背景にある粋な風情を紹介するゾーン。すみだならではのものづくり商品の展示販売もあります。	新しい感性、熱い思いで生まれた、すみだの誇りといえる製品や、ものづくりの魅力を紹介するゾーン。すみだブランド認定「すみだモダン」や、製品が開発された物語、作り手の熱い思いなどを紹介。	まち歩きに役立つ情報を来場者一人ひとりの希望に沿って教えてくれる観光案内カウンターがあるのがこのゾーン。	すみだの四季折々の観光や産業の振興を目的とした、さまざまな催しを開催するイベントスペース。職人の実演や特産品などを中心に旬の「すみだの魅力」を発信。
地元の味を賞味あれ	世界に誇る伝統技術!	見て触って体験できる!	職人の実演は見もの!

問い合わせ先
一般社団法人 墨田区観光協会
〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋3-4-5
TEL.03-5608-6951 FAX.03-5608-7130
http://visit-sumida.jp/

HELLO!

TOKYO SKYTREE TOWN

5/22 GRAND OPEN!

たくさん思いに育てられて。たくさん期待に見つめられて。ついに、日本中のあなたに、ありがとうございます日やってきました。いよいよです。東京スカイツリータウン、グランドオープン。

www.tokyo-skytree.jp

東京スカイツリータウンへご来場の際は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。